

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(不確かさ要因)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/2/18	NS2-補-023-13	補足説明資料	地震応答に影響を及ぼす不確かさ要因の整理	P.4	建物-大型機器連成地震応答解析における原子炉建物のモデルが今回工認の建物モデルを用いていることが分かるように説明すること。	後日回答			
2	2022/2/18	NS2-補-023-13	補足説明資料	地震応答に影響を及ぼす不確かさ要因の整理	P.9	「e.建物基礎底面の付着力の影響」、「g.床柔性に関する影響」について、応答による機器・配管への影響を確認することがわかるように説明すること。	後日回答			
3	2022/3/11	NS2-補-023-13改01	補足説明資料	地震応答に影響を及ぼす不確かさ要因の整理	P.5	材料物性値の不確かさを考慮しない理由について説明すること。	今回回答	材料物性値の不確かさを考慮しない理由について、土木学会マニュアルを用いてコンクリートの剛性が小さくなると安全側の評価となることについて説明を追記しました。	NS2-補-023-13改02「地震応答に影響を及ぼす不確かさ要因の整理」P.5	
4	2022/3/11	NS2-補-023-13改01	補足説明資料	地震応答に影響を及ぼす不確かさ要因の整理	P.10	箱型構造物の弱軸断面・強軸断面について、モデル化方針が明確となるように説明すること。	今回回答	【NS2-他-126「島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(屋外重要土木構造物)」のNo.36にて回答】	—	コメント移動
5	2022/3/11	NS2-補-023-13改01	補足説明資料	地震応答に影響を及ぼす不確かさ要因の整理	P.10	「耐震評価(影響の小さい評価手法)」について、不確かさ要因が分かるようなタイトルに記載を適正化して説明すること。	今回回答	タイトルを「液状化を考慮しない場合の影響」に適正化しました。また、影響検討ケースのうち、プラント共用時の条件を想定した検討が必要な事項に見直したため、記載箇所を見直しました。	NS2-補-023-13改02「地震応答に影響を及ぼす不確かさ要因の整理」P.7,13,19	
6	2022/3/11	NS2-補-023-13改01	補足説明資料	地震応答に影響を及ぼす不確かさ要因の整理	P.13	有効応力解析のみ実施する構造物について、解析手法選定の根拠を床応答の観点を含めて整理して説明すること。	今回回答	【NS2-他-126「島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(屋外重要土木構造物)」のNo.37にて回答】	—	コメント移動
7	2022/3/11	NS2-補-023-13改01	補足説明資料	地震応答に影響を及ぼす不確かさ要因の整理	P.20	地震応答に影響を及ぼす不確かさ要因について、液状化及び位相反転の要否を説明すること。	今回回答	基本ケースとして、位相反転を考慮することを追記しました。また、地震応答に影響を及ぼす不確かさ要因として、液状化の有無による影響について確認することを記載しました。	NS2-補-023-13改02「地震応答に影響を及ぼす不確かさ要因の整理」P.4,7	
8	2022/3/11	NS2-補-023-13改01	補足説明資料	地震応答に影響を及ぼす不確かさ要因の整理	P.14	位相反転ケースについて、土木構造物及び機器・配管系の工認設計ケースとしての考え方を整理して説明すること。	今回回答	位相反転ケースについて、工認設計ケースのうち基本ケースとして評価することを記載しました。	NS2-補-023-13改02「地震応答に影響を及ぼす不確かさ要因の整理」P.4,13,19	
9	2022/3/11	NS2-補-023-13改01	補足説明資料	地震応答に影響を及ぼす不確かさ要因の整理	P.13	基本ケースとなる解析手法(有効応力解析、全応力解析)について、考え方を整理して説明すること。	今回回答	【NS2-他-126「島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(屋外重要土木構造物)」のNo.38にて回答】	—	コメント移動

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(不確かさ要因)

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1	NS2-補-023-13改02	地震応答に影響を及ぼす不確かさ要因の整理	P.4	評価手法の記載は「屋外重要土木構造物の耐震安全性評価について」に記載するため、以下の記載を削除しました。 また、耐震評価にあたっては、地盤の液状化時の挙動を考慮した上で、評価手法(全応力解析及び有効応力解析)を選定する。なお、選定の結果、両手法により確認する必要がある場合には、それぞれ地震応答解析を行い、応答比較の結果を踏まえ耐震評価を行う。	2022/5/16	
2	NS2-補-023-13改02	地震応答に影響を及ぼす不確かさ要因の整理	P.10	弱軸断面における面内壁の影響について記載しているが、強軸方向のモデル化方針について明確化するため、強軸方向については、面内壁をモデル化して機器・配管系への設計に反映することを追記しました。	2022/5/16	
3	NS2-補-023-13改02	地震応答に影響を及ぼす不確かさ要因の整理	P.10,13,19	工認設計ケースの妥当性確認が必要な事項について、網羅的に記載することで適正化を図ったため、「解析コードの差異による影響」と「線状構造物における弱軸方向の影響検討」を追記しました。	2022/5/16	
4	NS2-補-023-13改02	地震応答に影響を及ぼす不確かさ要因の整理	—	地震応答解析手法の整理フローは「屋外重要土木構造物の耐震安全性評価について」に記載するため、以下の図を削除しました。 (旧)図1(2) 島根2号機における地震応答解析手法の整理フロー(土木構造物)	2022/5/16	